香川医療生協　　牟礼支部運営委員会発行

牟礼支部ニュース　第36号　2022年１月

「コロナ」の一日も早い終息を願っています。元通りの日常生活を取り戻して楽しい活動を再開したいものですね。

医療生協牟礼支部
支部長　玉越範子　運営委員一同

元気な高齢組合員

コロナ禍の中、運営委員が手分けして９０歳以上の組合員さん宅を訪問しました。訪問する中で９１歳の元気な女性に出会いました。

一人暮らしですが友人・知人は沢山いて、いろんなサークル等に参加し充実した日々を送っているとのことでした。車運転し、パソコン操作もしていると言いました。

毎週、同好の人達が集まってステンドグラスの作成を行っていて楽しいとのこと。自作の傘とか電気スタンドなどの作品を見せてもらいましたが、立派なもので感心させられました。

凄いなと思うと同時にこのような組合員が居ることに嬉しくなりました。

高齢なので病気無しとはいかず、眼科・内科・・・等にも通うことがあるとのことですが元気なものでした。

（谷上時彦）

寶田裁判　敗訴

１２月８日、控訴審（高松高裁　片田裁判長）で、控訴棄却（寶田さんの敗訴）の判決が出されました。たった３０秒程度で閉廷です。８年の長期間、労災認定を求めて、労基署、裁判所へ訴え続けましたが、無念な結果となりました。

元同僚の証言や自宅カレンダー、病気の発症等、一切考慮しない判決です。寶田さんは、「多くのみなさんの温かいご支援がありましたが、判決は信じがたい不当判決です」と語りました。医療生協牟礼支部の多くの方々に感謝します。

☆寶田裁判

８年前に高松市番町の老健施設で働いていた時に施設側責任者からパワハラを受け「うつ病」を発症し退職に追い込まれました。労基署に労災申請をしましたが認めてもらえず、やむなく国と老健施設を相手に民事裁判を起こしました。